

令和6年度 社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会 事業計画

基本方針

令和6年度は、地域共生社会の実現に向けて瀬戸市の地域福祉計画と一体的に策定した本会の活動指針である地域福祉活動計画(平成30年～令和8年)に基づき、当計画の基本理念に掲げる「気づき、よりそい、手をつなぐ 私たちのまち せと」のまちづくりを目指し、引き続き、4つの重点施策を踏まえた重点事業を柱に、社会福祉事業12区分、公益事業で2区分、合計14のサービス区分を中心に事務事業に取り組みます。

事業展開にあたっては、本会の自主事業、市・県受託事業及び補助事業並びに介護保険事業等、有機的な連携を図り、瀬戸市をはじめ、自治会、地区社協、民生委員児童委員、ボランティア活動団体、医療・介護・保健・福祉の関係者・団体、民間企業及び関係行政機関との連携・協働を基軸として進めます。また、個別支援と地域支援の両輪による地域福祉を推進し、その力量を蓄積するとともに、地域における包括的な支援体制の一翼を担うべく事業に取り組みます。

また、地域における人間関係の希薄化が進むなか、人と人との様々なつながりや交流、助けあい・支えあい活動の必要性とその重要性を多様な主体と共有しつつ、合わせて国際社会が目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現や共通目標と軌を一に捉えて事業活動に取り組みます。これらの活動や取り組みの状況を広く地域住民等に理解と共感が得られるよう広報宣伝及び情報発信に注力するとともに、本会が住民主体を原則に地域福祉を推進する中核として信頼と期待に応えられるよう組織運営に取り組みます。

他方、加速する少子化・人口減少、パンデミックの脅威や多発する自然災害、AIの社会実装、グローバル化の影響など、社会経済はもとより地域福祉を取り巻く環境も目まぐるしく変化しています。こうした外部環境の変化とともに、本会にあっても厳しさが増す資金収支や組織運営・人材の確保などの内部環境の諸課題に適切に対応し、持続性を高めていくことが重要となっており、地域福祉活動計画の実効性を担保し下支えできるよう、令和6年度を初年度とする中期経営計画を整え、計画的な経営基盤の安定強化に取り組みます。

地域福祉活動計画	
重点施策	重点事業
1 誰もが集える居場所づくり	<p>地域のコミュニティを維持することができるように身近な地域で、誰もが集まることができる居場所づくりを進め、顔の見える地域づくりを目指します。</p> <p>・地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクトへの推進 歩いて行くことができる身近な地域の居場所の開設を働きかけ、「よりどころ」として設置・認定を行い、「よりどころ」を拠点とし、住民同士が気軽にふれあい支えあうことができるまちづくりの推進に取り組みます。</p> <p>○共同募金配分事業(550千円)よりどころ</p>
	<p>・地区社協企画事業の推進 地区社協による高齢者や子育て世帯を中心としたサロン活動の立ち上げや継続への支援のほか、地域団体等が協働して行う福祉活動の推奨等、顔の見える地域づくりや居場所づくりに取り組みます。</p> <p>○共同募金配分事業(1,000千円)企画事業</p>
2 地域で活躍できる支えあいの人づくり	<p>地域ごとの課題に対応できる環境を整え、地域において、すべての住民が「担い手」となり、お互いに支えあえる関係を築き、いつまでも住み慣れた地域の中で生活できるまちを目指します。</p> <p>・ボランティア活動の促進 ボランティアセンターの機能強化を図り、時代や地域に求められるボランティアの育成に取り組みます。</p> <p>○ボランティアセンター活動事業(1,000千円)助成金</p>
	<p>・災害ボランティアセンターの体制整備 災害ボランティアコーディネーターの養成をはじめ、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を通じて、市や地域の関係諸団体との連携を強化・推進し、平時から大規模災害の被災地支援に即応できるよう災害ボランティアセンターの体制整備に取り組みます。</p> <p>○ボランティアセンター活動事業(110千円)諸謝金</p>
	<p>・地域福祉パートナーシップ事業者認定制度の推進 地域の一員である民間事業者等が持ち合わせるノウハウ等を活かして取り組む地域貢献活動と地域に顕在する身近な福祉課題等とのマッチングを通じ、連携・協働の関係を構築し、多様な主体が支えあう地域社会づくりに取り組みます。</p>
	<p>・地域支えあい会議(地域懇談会)の開催 様々な地域の福祉課題に対して「地域支えあい会議」を開催し、課題の解決に取り組みます。</p>

3 相談できる・つながる仕組みづくり	地域住民の気づきの声を受け、市や様々な機関・団体と連携し、住民を支える相談体制を築き、相談できる・つながる地域づくりを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの深化・推進 基幹型地域包括支援センター及び市内の地域包括支援センターと本会の地域担当職員や生活支援コーディネーターが連携を図るとともに、民間企業、関係行政機関等との有機的な連携を強化するなど、住民を支える相談体制を構築し、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組みます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮世帯への支援 経済的な理由等により生活に困窮する世帯に対して、生活の安定と経済的自立を図ることを目的とした資金貸付に関する相談支援、子の就学援助のための奨学金支給、緊急時の一時的な食料支援等を行い、地域福祉の増進に取り組みます。 <p>○資金貸付事業 14,679 千円 ○福祉奨学金支給事業 4,173 千円</p>
4 支えあいの心をはぐくむ環境づくり	地域の中での声かけや交流等、支えあいの心を持てる機会づくりに努め、身近な住民同士での助けあいが日常的に行われる地域づくりを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当制の実践強化 市内7か所の地域包括支援センター単位に地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある福祉課題の掘り起こしとその解決に向け、地域住民への働きかけや話し合いを促進し、地域福祉活動の実践に取り組みます。 <p>○法人運営事業(14,500 千円)生活支援コーディネーター</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人までの福祉教育の実践 市内の小中学校等の児童・生徒に対して社会福祉に関する実践活動等の機会を確保するための福祉教育推進校事業の促進、誰もが学べる福祉実践教室・出前講座を実施し、支えあいの心をはぐくむ環境づくりに取り組みます。 <p>○ボランティアセンター活動事業(195 千円)諸謝金、推進校助成金</p>

※（ ）はサービス区分計上予算の内数額

経営基盤の安定強化に向けた取り組み
○中期経営計画の策定（令和6年度～令和10年度）

1 法人運営事業

【令和5年度 70,717千円 令和6年度 65,080千円】

(1)法人運営事業

1	役員会等の運営	内容	法人の業務執行の決定機関である理事会、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、理事の職務執行の監査を行う監査会、評議員の選任・解任を行う評議員選任・解任委員会を開催する。				
2	会員募集	内容	地域福祉の推進を目的として、本会の事業や活動に賛同いただける会員(一般、法人、施設)の増加を図り、その会費を地域福祉活動の財源とする。				
		実績値 及び 目標等	R3	R4	R5	R6	備考
			8,744件	8,094件	7,844件	→	一般会員 (年1,000円以上)
			253法人	254法人	261法人*	↗	法人会員 (年3,000円以上) *12月末現在
20施設	20施設	20施設	→	施設会員 (年2,000円以上)			
3	経理事務	内容	会計帳簿の作成・整理及び保管、予算・決算、事業計画及び事業報告の策定、資産及び負債の管理等、法人の支払資金収支状況、経営及び財務の状態を把握し、適切な経理事務を行う。				
4	労務管理	内容	職員の勤怠を管理して給与支給事務を行う。また、健康保険等各種社会保険の手続きを行い、福利厚生増進に努める。安全衛生及び健康管理として、定期的に健康診断を実施し、職員の健康保持及び良好な職場環境の維持を図る。				
5	ふくし出前講座の実施	内容	職員が「よりどころ」や地区社協等の会合に出向き、福祉に関する様々な情報や知識についての講座を実施する。				
		実績値 及び 目標等	R3	R4	R5	R6	備考
			8件	16件	9件*	↗	*12月末現在
6	地域担当制の実践	内容	7地域包括支援センター単位に地域担当職員を配置し、地域にある福祉課題の把握及び解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動を推進する。また、実践するにあたり職員間の情報共有のため地域担当連絡会を開催する。				
		実績値 及び 目標等	R3	R4	R5	R6	備考
			12回	12回	8回*	→	地域担当連絡会開催数 *12月末現在
7	職員研修	内容	職員の資質向上及び業務上の必要性に応じて、外部の実施する研修等への積極的な参加を図る。また、内部の研修計画を立案して実施するなど、計画的に職員研修を実施し、人材の育成を図る。				
		実績値 及び 目標等	R3	R4	R5	R6	備考
			15回	24回	50回*	→	研修等実施数 *12月末現在

(2)団体事務運営事業

1	各種団体の運営補助	内容	6つの団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の運営に必要な事務局業務を実施する。			
---	-----------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

(3)生活支援コーディネーター配置業務

1	地域の社会資源の把握及び開発	内容	地域における生活支援サービスに関連する資源の把握及び開発を行う。			
		実績値及び目標等	R3 137件	R4 138件	R5 105件**	R6 ↑
2	担い手養成講座の実施	内容	身近な地域での支えあい広がるように地域住民が集える開放的な居場所を実施する担い手の養成講座を実施する。			
		実績値及び目標等	R3 1回	R4 1回	R5 0回**	R6 ↑
3	地域支えあい会議(地域懇談会)の開催	内容	地域課題に応じた事業の取り組みにつなげるため、地域の関係機関の協力を得て、会議を開催する。			
		実績値及び目標等	R3 1回	R4 1回	R5 0回**	R6 ↑
4	地域担当職員との連携	内容	7地域包括支援センター単位に配置された地域担当職員と緊密に連携し、社会資源等の情報共有及び～わがまち「よりどころ」プロジェクト～等の推進を行う。			
5	～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進	内容	誰もが集える居場所づくりのため、地域住民や団体に働きかけを行い、歩いて行くことができる身近な地域の居場所を「よりどころ」として認定し、顔の見える地域づくりを目指す。			
		実績値及び目標等	R3 46か所	R4 48か所	R5 51か所**	R6 ↑
6	地域福祉パートナーシップ事業者認定制度	内容	民間事業者等が地域貢献として取り組む活動と地域に顕在する身近な福祉課題等とのマッチングを通じ、地域福祉パートナーシップ事業者として連携・協働の関係を構築し、地域福祉の推進へとつなげる。(令和4年5月より実施)			
		実績値及び目標等	R3 —	R4 5事業者	R5 10事業者**	R6 ↑

2 瀬戸市福祉保健センター事業

【令和5年度 105,910千円 令和6年度 105,910千円】

(1)福祉保健センター管理事業

1	瀬戸市福祉保健センターの管理・経営	内容	指定管理制度により、福祉保健センター(やすらぎ会館)の指定を受けて、管理・経営を行う。			
		実績値及び目標等	R3 2,395件 (30,451人)	R4 3,197件 (42,183人)	R5 3,031件** (54,285人)	R6 ↑

(2)身体障害者福祉センター運営事業

1	瀬戸市身体障害者福祉センターの運営	内容	障がい者に対し、社会参加のための教養講座等を行うとともに、相談に対し助言・指導を行うなど、各種サービスの提供を行う。			
		実績値及び目標等	R3 2講座 (20人)	R4 1講座 (11人)	R5 1講座 (19人)	R6 ↑
2	やすらぎマルシェの開催	内容	障がい者就労施設等の利用者の就労体験及び会館利用者との交流を目的として、毎週水曜日・木曜日に施設の製品等をやすらぎ会館で販売する。			
		実績値及び目標等	中止	60日 (98施設)	69日 (140施設*)	↑
3	福祉夏まつりの開催	内容	会館利用者やボランティア団体及び市民の交流を図る。			
		実績値及び目標等	中止	348人*	880人	↑
4	福祉お楽しみ交流会の開催	内容	高齢者や障がい者の新年のお楽しみの機会として、演芸会や会館利用者による作品展展示などを通じ交流を図る。			
		実績値及び目標等	R3 出展数 106点 作品展・体験 139人	R4 演芸会 47人 出展数 133点 作品展・体験 166人	R5 未実施*	R6 ↑

(3)老人福祉センター運営事業

1	瀬戸市老人福祉センターの運営	内容	60歳以上の方や障がい者に対して、交流の場、健康増進のための入浴サービス・機能回復訓練、生活や健康の相談を行う。				
		実績値及び目標等	R3 113件 (1,807人)	R4 115件 (793人)	R5 108件* (859人)	R6 ↑	備考 団体利用件数及び利用延人数 *12月末現在
		実績値及び目標等	6,107人	12,673人	14,291人*	↑	備考 入浴等利用延人数 *12月末現在
2	高齢者及び障がい者向けの各種教室の開催	内容	60歳以上の方や障がい者に対して、ニーズに合わせた教養の向上及び趣味と仲間づくり、生きがいづくりの場を提供することを目的とした講座を開催する。				
		実績値及び目標等	R3 8講座 (214人)	R4 10講座 (253人)	R5 9講座 (168人)	R6 ↑	備考 開催講座数及び参加延人数

(4)プレイルーム事業

1	瀬戸市プレイルームの運営	内容	親子の集える場の提供、子育ての相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、子育て支援に関する講習の実施等、地域子育て支援拠点の機能及び児童館機能を有する拠点の一つとして、子育て支援と児童の健全育成を推進する。			
		実績値及び目標等	R3 250回 (3,403人)	R4 292回 (6,440人)	R5 221回* (6,786人)	R6 ↑

2	育児講座・教室の開催	内容	保護者の育児意識を高め、乳幼児の健全な発達を促すことができるようにするための育児講座、小学生の健全育成を目的とする教室、親子で興味が持てる内容の講座等を開催する。				
		実績値	R3	R4	R5	R6	備考
		及び 目標等	44回 (462人)	88回 (1,074人)	54回* (1,073人)	↗	開催講座数及び参加延人数 *12月末現在

3 助成事業

【令和5年度 7,713千円 令和6年度 7,505千円】

1	地区社協への助成金 支給	内容	地域住民から寄せられる一般会費の9割を地域福祉推進の主体である地区社協へ運営支援として配分金を支給する。				
		実績値	R3	R4	R5	R6	備考
		及び 目標等	8,506千円	8,017千円	7,563千円	→	配分金合計額

4 福祉奨学金支給事業

【令和5年度 4,305千円 令和6年度 4,173千円】

1	福祉奨学金入学準備 費支給事業	内容	経済的な理由により就学に難を抱える就学予定者の世帯に対し、福祉奨学金入学準備費2万円を支給する。				
		実績値	R3	R4	R5	R6	備考
		及び 目標等	134人	189人	59人*	→	*12月末現在 2月に後期実施予定

5 共同募金配分事業

【令和5年度 14,267千円 令和6年度 14,432千円】

(1)老人福祉活動、障害児・者福祉活動、児童・青少年福祉活動、ボランティア活動育成事業

1	社会福祉団体への助 成金の交付	内容	市内の社会福祉団体等が実施する社会福祉事業に対して助成金を交付する。 (助成先：瀬戸市老人クラブ連合会、瀬戸市身体障害者福祉協会、瀬戸おもちゃ図書館「クレヨン」、手をつなぐ親の会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市少年センター運営協議会、瀬戸スカウト協議会)				
		実績値	R3	R4	R5	R6	備考
		及び 目標等	455,000円	459,709円	6団体* (462,591円)	→	交付合計額 *12月末現在
2	瀬戸おもちゃ図書館 「クレヨン」の運営	内容	障がい児や小学生以下の子どもたちが、おもちゃを通して親子で楽しく遊びながら成長できるよう支援する。また、障がい児関係者及び子育て支援関係団体へおもちゃの貸出をする。				
		実績値	R3	R4	R5	R6	備考
		及び 目標等	15日 19人	24日 45人	39日* 431人*	↗	開催日数及び利用者数 *12月末現在
		19個	63個	20個	↗	おもちゃの貸出数	

(2)福祉育成・援助活動

1	身近な地域の居場所「よりどころ」への支援	内容	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを進めることを目的として、身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、設置・運営に必要な費用の一部を助成する。				
		実績値及び目標等	R3 11 か所 (155 千円)	R4 16 か所 (221 千円)	R5 23 か所* (302,500 円)	R6 ↑	備考 助成件数及び助成額 *12 月末現在
2	地区社協企画事業の推進	内容	地域福祉推進のために地区社協が取り組む事業等の企画立案に向けた研修会の開催や助言及び事業費助成を行う。				
		実績値及び目標等	R3 2 件 88,563 円	R4 3 件 95,264 円	R5 2 件* (89,646 円)	R6 ↑	備考 助成合計額 *12 月末現在
3	地区社協子育てサロンの拡充	内容	子育てサロン未実施の地域に、新たな子育てサロンの立ち上げのための働きかけを行う。また、既存の子育てサロンの運営等に対して相談・助言を行う。				
		実績値及び目標等	R3 10 地区	R4 10 地区	R5 10 地区	R6 ↑	備考 相談・助言地区数
4	せとっちエール便の実施	内容	様々な事情から食べ物に困っている方に、フードドライブ等により集められた食料品等を配布し、食料品を通じてエール(励まし)をつなげる支援(フードパントリー)として「せとっちエール便」を継続実施する。				
		実績値及び目標等	R3 971 個	R4 183 個	R5 113 個	R6 →	備考 フードドライブ等で寄せられた数量
		実績値及び目標等	R3 160 件	R4 172 件	R5 145 件*	R6 →	備考 エール便配布件数 *12 月末現在
5	広報啓発活動	内容	本会の事業等を分かりやすく説明し、市民との情報共有及び市民の福祉への理解・参画を促進するため、社協だよりを発行する。また、ホームページやSNS (Facebook、Instagram)を活用し、幅広い世代に向けた広報啓発活動を行う。				
		実績値及び目標等	R3 4 回	R4 4 回	R5 4 回	R6 →	備考 社協だより発行回数
6	社会福祉大会の開催	内容	瀬戸市及び瀬戸市共同募金委員会と共催で、社会福祉の増進に寄与し、功績が顕著なもの顕彰のほか、赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール最優秀賞の表彰を行う。				
		実績値及び目標等	R3 66 人及び 5 団体	R4 114 人及び 4 団体	R5 57 人及び 4 団体	R6 →	備考 令和 6 年 10 月 26 日(土) 開催予定

7	社会福祉団体への助成金の交付	内容	市内の社会福祉団体等が実施する社会福祉事業に対して助成金を交付する。 (助成先：瀬戸市更生保護女性会、社会を明るくする運動瀬戸市推進委員会、人権擁護委員瀬戸地区委員会、瀬戸市民生委員児童委員協議会)			
		実績値 及び 目標等	R3 4 団体 (195 千円)	R4 4 団体 (195 千円)	R5 4 団体 (195 千円)	R6 → 交付合計額
8	民間保育所への支援	内容	児童福祉の向上を目的として、市内の民間保育所の園児に還元される事業に配分金を交付する。			
		実績値 及び 目標等	R3 7 施設 (161, 000 円)	R4 8 施設 (181, 000 円)	R5 8 施設 (174, 500 円)	R6 → 配分先保育所数及び配分金合計額

(3)歳末たすけあい募金配分金

1	歳末たすけあい募金配分事業	内容	新たな年を迎える時期に支援が必要な人に対し、必要とするサービスを支給するための券を交付し、日常生活の便宜を図り、その人及び家族の福祉の増進を図る。			
		実績値 及び 目標等	R3 1, 677 件	R4 1, 621 件	R5 1, 618 件	R6 → 支給券交付決定件数
2	地区社協歳末たすけあい事業への支援	内容	地区社協が主催し、各関係団体と共催または協力を得て、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、12 月から1 月にかけて行う事業を支援する。			
		実績値 及び 目標等	R3 200 万円	R4 200 万円	R5 200 万円	R6 → 歳末たすけあい配分金合計額
3	福祉クリスマス会の開催	内容	障がい児とその家族が楽しく行事に参加し交流を深めるため、市内在住の 18 歳までの障がい児を対象とする福祉クリスマス会を開催する。			
		実績値 及び 目標等	R3 40 件※	R4 34 人	R5 135 人	R6 → 参加者数 ※クリスマスツリー作成
4	障がい者施設への支援	内容	障がい福祉の向上を図ることを目的として、新たな年を迎える時期に障がい者施設の利用者に還元できる事業のための配分金を交付する。			
		実績値 及び 目標等	R3 20 施設 (229, 000 円)	R4 20 施設 (242, 500 円)	R5 21 施設 (241, 000 円)	R6 → 配分先障がい者施設数及び配分金合計額
5	母子・父子福祉事業への支援	内容	母子福祉の向上を図ることを目的として、新たな年を迎える時期に母子福祉会が行う事業に対して配分金を交付する。			
		実績値 及び 目標等	R3 75 千円	R4 75 千円	R5 75 千円	R6 → 母子福祉会配分金額

6 ボランティアセンター活動事業

【令和5年度 2,520千円 令和6年度 2,564千円】

1	ふくしボランティアフェスティバルの開催	内容	地域住民が福祉を知り、ボランティアと接する機会及びボランティア同士の相互理解・交流を目的として開催する。				
		実績値及び目標等	R3 118人*	R4 348人* (再掲)	R5 431人	R6 ↑	備考 参加延人数 *縮小開催
2	ボランティア相談の実施	内容	ボランティア活動を希望する方やボランティア活動を依頼したい団体・施設からの相談等に対応するため、ボランティア相談を行う。				
		実績値及び目標等	R3 56件	R4 141件	R5 195件*	R6 ↑	備考 *12月末現在
3	ボランティア活動への支援	内容	ボランティア保険の加入やボランティアセンターへの登録の推奨を行い、ボランティア活動に安心して取り組めるよう支援する。				
		実績値及び目標等	R3 2,064人	R4 1,929人	R5 1,786人*	R6 ↑	備考 保険登録者数 *12月末現在
			77団体 (1,433人)	78団体 (1,392人)	78団体* (1,313人)	↑	団体登録数及び人数 *12月末現在
			13人	12人	15人*	↑	個人登録数 *12月末現在
4	ボランティア団体への支援	内容	ボランティアセンターの登録団体が行う地域福祉ボランティア活動について助成金を交付することで活動を支援し、市民福祉の向上を図る。				
		実績値及び目標等	R3 18件 (983,948円)	R4 19件 (995,052円)	R5 20件 (998,446円*)	R6 →	備考 交付件数及び合計金額 *予定額
5	ボランティア講座の開催	内容	ボランティアを身近に感じてもらうため、また、ボランティアの啓発や担い手の発掘・育成のため、市民等に対して講座や説明会を開催する。 (福祉実践教室説明会、実践教室サポーター養成講座、こどもふくし体験きゃらばん等)				
		実績値及び目標等	R3 3回	R4 3回	R5 2回*	R6 ↑	備考 講座等開催回数 *12月末現在
6	ボランティアコーディネーターの育成及び活動促進	内容	ボランティアコーディネーター養成研修の受講修了者等とともにボランティアサロン等を開催し、ボランティアの育成・活動促進を図る。				
		実績値及び目標等	R3 5回184人	R4 9回479人	R5 6回563人*	R6 ↑	備考 ボランティアサロン開催回数及び参加延人数 *12月末現在

7	ボランティアセンター運営委員会の開催	内容	ボランティアセンターの運営及び事業について福祉団体関係者からなる運営委員より意見・助言を仰ぎ、整備・充実を図る。				
		実績値及び目標等	R3 3回	R4 3回	R5 3回	R6 →	備考 運営委員会開催回数
8	福祉実践教室の開催	内容	市内の児童・生徒を対象に、障がいや高齢など地域の福祉や生活課題に気づき、「豊かな人間性」や「ともに生きる力」を育むことを目的に、福祉実践教室を開催する。				
		実績値及び目標等	R3 57回 (1,910人)	R4 78回 (2,389人)	R5 68回* (1,783人)	R6 ↑	備考 実施回数及び参加者数 *12月末現在
9	福祉教育推進校事業の実施	内容	福祉教育推進校の委嘱を通じ、市内の小学校・中学校・高等学校及び専門学校の児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、思いやりと助けあいの心を育み、地域福祉活動やボランティア活動への参加の促進をつなげることを目的に、社会福祉に関する実践学習の機会を確保し、福祉教育を推進する。				
		実績値及び目標等	R3 4校	R4 2校	R5 7校	R6 →	備考 要綱見直しにより、R4は2校、R5から7校を委嘱
10	災害ボランティアセンターの体制整備	内容	大規模災害時に被災地・被災者支援を目的に立ち上げる災害ボランティアセンターの運営に向けて、コーディネーターの養成、実践的な立ち上げ訓練を行う。また、東尾張地域における局地災害発生時に東尾張ブロック内の社会福祉協議会間で救援活動を相互応援するための体制構築を図る。				
		実績値及び目標等	R3 14人 (129人)	R4 21人 (148人)	R5 13人* (160人)	R6 ↑	備考 災害ボランティアコーディネーター養成講座受講者数及び登録者数 *12月末現在
			1回	1回	0回*	→	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 *12月末現在：1月開催予定
			1回	2回	1回*	→	東尾張ブロック災害救援連絡会議への出席 *12月末現在
			中止	1回	1回	→	東尾張ブロック社協局地災害時救援活動訓練への参加

7 資金貸付事業

【令和5年度 8,614千円 令和6年度 14,679千円】

1	生活福祉資金貸付の実施	内容	低所得者、障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を通じ、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図る。			
		実績値及び目標等	R3 3,808件 (3,452件)	R4 1,776件 (1,243件)	R5 527件* (308件)	R6 →
2	小口融資の実施	内容	法外援護として、自主財源を原資に2万円を上限に小口融資を行う。			
		実績値及び目標等	R3 16件 (289,000円)	R4 14件 (239,855円)	R5 10件* (182,640円)	R6 →

8 日常生活自立支援事業

【令和5年度 1,330千円 令和6年度 1,076千円】

1	日常生活自立支援事業の実施	内容	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力に不安のある方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行う。				
		実績値及び目標等	R3 15件	R4 13件	R5 13件*	R6 →	備考 契約件数 *12月末現在
		実績値及び目標等	216件	293件	255件*	→	相談・援助延件数 *12月末現在

9 相談事業

【令和5年度 1,440千円 令和6年度 1,454千円】

1	心配ごと相談の実施	内容	毎週木曜日の午後1時～4時(祝日を除く)に、心配ごと相談員(民生委員)により、市民の心配ごとについて相談、助言等を行う。			
		実績値及び目標等	R3 37回33件	R4 47回32件	R5 37回36件*	R6 →
2	心配ごと相談員の資質向上	内容	心配ごと相談員に対して、相談支援の資質向上のための研修会を開催する。			
		実績値及び目標等	R3 中止	R4 1回26人	R5 0回*	R6 →
3	法律相談の実施	内容	毎月第1～4木曜日の午前9時～正午(祝日を除く)に、法律相談員(弁護士)により、市民からの法律に関する相談、助言等を行う。			
		実績値及び目標等	R3 45回247件	R4 44回230件	R5 34回188件*	R6 →

10 福祉基金運営事業

【令和5年度 2,751千円 令和6年度 2,560千円】

1	福祉基金の設置及び管理	内容	社会福祉活動推進のために積み立てた基金の収益金を、市社協が行う事業に要する費用に充てる。			
2	さんあい福祉基金の運営	内容	さんあい福祉活動の推進のために設置した基金の運用益を、障がい福祉、母子福祉、高齢者福祉、その他地域福祉に必要な事業を行う各種福祉団体へ配分する。			

11 やすらぎ介護支援事業（せと地域福祉サービスセンター）

【令和5年度 12,453千円 令和6年度 9,094千円】

1	ケアプランの作成	内容	せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者に対して介護保険サービスを利用するためのケアプランを作成する。				
		実績値及び目標等	R3	R4	R5	R6	備考
			73人	82人	56人*	↑	利用者数(R5.6よりケアマネ2人体制) *12月末現在
984件	934件	572件*	↑	ケアプラン作成延件数(R5.6よりケアマネ2人体制) *12月末現在			

12 地域活動支援センター事業（やすらぎ地域活動支援センター）

【令和5年度 8,185千円 令和6年度 4,223千円】

1	地域活動支援センターの運営	内容	障害のある方に昼間の居場所や生きがいづくりのために、創作的活動や生産活動の機会などを提供し、地域社会とのつながりを持てるよう支援する。				
		実績値及び目標等	R3	R4	R5	R6	備考
			24人	24人	15人*	↑	利用登録者数 *12月末現在
1,493人	1,224人	444人*	↑	利用延人数 *12月末現在			

13 やすらぎ地域包括支援センター事業

【令和5年度 68,244千円 令和6年度 68,399千円】

(1) 包括的支援事業（やすらぎ地域包括支援センター）

1	総合相談支援業務	内容	高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援を行う。				
		実績値及び目標等	R3	R4	R5	R6	備考
		397件	351件	281件*	↑	総合相談対応件数 *12月末現在	

2	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	内容	包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。				
		実績値及び目標等	R3 71件	R4 174件	R5 172件*	R6 ↗	備考 支援件数 *12月末現在
3	認知症総合支援事業	内容	認知症初期集中支援チームを設置し、医療・介護等のネットワークを活用しながら早期診断・早期対応に向けた地域支援体制を構築することを目的とした認知症総合支援事業を実施する。				
		実績値及び目標等	R3 13件	R4 10件	R5 7件*	R6 →	備考 認知症初期集中支援延件数 *12月末現在
4	地域ケア会議の実施	内容	包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のため、医療、介護等の専門職をはじめ、地域住民や民生委員、自治会長、NPO法人、社会福祉法人、ボランティア等地域の多様な関係者により構成される地域ケア会議を開催する。				
		実績値及び目標等	R3 1回	R4 1回	R5 0回*	R6 →	備考 *12月末現在 3月開催予定
5	一般介護予防事業	内容	介護予防普及啓発事業として介護予防教室(口腔)を、地域介護予防活動支援事業として地域はつらつ講座を地域住民に対して実施する。				
		実績値及び目標等	R3 中止	R4 3回	R5 3回	R6 →	備考 介護予防教室(口腔)
6	任意事業	内容	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする方を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを目指すため、認知症サポーター養成講座を地域住民や地域の企業等に対して実施する。				
		実績値及び目標等	R3 1回	R4 3回	R5 0回*	R6 ↗	備考 *12月末現在：3月開催予定

(2)指定介護予防支援事業

1	介護予防ケアプラン等の作成	内容	やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に対して介護保険サービスを利用するための介護予防ケアプランを作成する。				
		実績値及び目標等	R3 1,991件	R4 2,255件	R5 1,780件*	R6 ↗	備考 介護予防ケアプラン作成延件数 *12月末現在

(3)基幹型包括支援センター事業（瀬戸市基幹型地域包括支援センター）

1	地域ケア会議の運営	内容	地域ケア会議の考え方や実施手法を整理し取りまとめ、地域型センターが開催する地域ケア会議を支援する。				
		実績値 及び 目標等	R3 7回	R4 8回	R5 2回*	R6 ↗	備考 *12月末現在 1月以降開催 予定
2	認知症総合支援事業	内容	認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう関係機関との連絡体制や相談支援体制の構築を図る。				
		実績値 及び 目標等	R3 412件	R4 383件	R5 274件*	R6 →	備考 相談延件数 *12月末現在
3	資質向上及び研修等の実施	内容	地域包括支援センター職員、ケアマネジャーの資質向上を図るための研修会や市民等を対象とした研修会及び認知症に関する研修会等を開催する。				
		実績値 及び 目標等	R3 7回	R4 33回	R5 14回*	R6 →	備考 *12月末現在
4	相談支援	内容	高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援を行う。				
		実績値 及び 目標等	R3 1,415件	R4 1,253件	R5 930件*	R6 →	備考 相談延件数 *12月末現在

(4)やすらぎ障がい者相談支援センター事業

1	基本相談支援	内容	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等や瀬戸市障がい者相談支援センター等の関係機関につなぐ同行(伴走)支援を行うこと及び必要な援助等を行うことにより、障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する。(令和4年5月より開設)				
		実績値 及び 目標等	R3 —	R4 509件	R5 271件*	R6 →	備考 相談延件数 *12月末現在

14 介護保険訪問調査事業

【令和5年度 36,767千円 令和6年度 38,604千円】

1	介護保険訪問調査の実施	内容	瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査を行う。				
		実績値 及び 目標等	R3 2,914件	R4 2,683件	R5 2,048件*	R6 →	備考 *12月末現在

15 その他の支援事業

(1) 瀬戸市共同募金委員会

1	瀬戸市共同募金委員会への支援	内容	市内区域の共同募金運動の推進にあたり、瀬戸市共同募金委員会の管理・運営や募金運動等を支援する。
---	----------------	----	-------------------------------------------------

(2) 日本赤十字社愛知県支部瀬戸市地区

1	日本赤十字社愛知県支部瀬戸市地区への支援	内容	活動資金の募集、災害見舞金及び物資の支給、災害義援金等の受付、災害救護及び訓練の実施等について支援する。
---	----------------------	----	------------------------------------------------------